

関門航路[南東水道地区]潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

次のとおり、関門航路[南東水道地区]の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について (気象等の影響により若干変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水土船	16隻 (最大)	5工区	R8.6中旬~R8.8中旬	日の出~日没	4隻
	浚渫	ドラグサクシオン式浚渫船	1隻	5工区	R8.9下旬~R8.11下旬	昼・夜	—

※お知らせは、関門航路事務所ホームページでダウンロードできます。
(<https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>)

2. 工事作業の場所.....南東水道地区 (図-1参照)

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

- 1) 潜水土船は最大 16 隻を航路に平行になるように配置します。(図-2 参照)
- 2) 潜水土船 1 隻に 1 名の潜水士を投入します。
- 3) 潜水土船には、国際信号旗「A 旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3 参照)
- 4) 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船 4 隻(内 1 隻は国際 VHF 無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4 参照)
- 5) 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が 300m を超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5 参照)
- 6) 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1 万 GT 以上の西航船がある場合は航路外に退避します。また、航路中心線から南側で潜水探査を行う場合、1 万 GT 以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 7) 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。(視界 2,000m 未満、波高 0.7m 以上、風速 10.0m/sec 以上、津波注意報・警報発表時)

3-2 浚渫工事

- 1) 国有ドラグサクシオン式浚渫船「海翔丸」にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。(図-6、7 参照)
- 2) 浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。(図-8 参照)

4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。
<九州地方整備局 関門航路事務所>
 潜水探査関係：建設管理官室
 TEL 093-512-8098
 浚渫工事関係：海洋環境・防災課
 TEL 093-512-8099



図-2 潜水探査作業船配置図

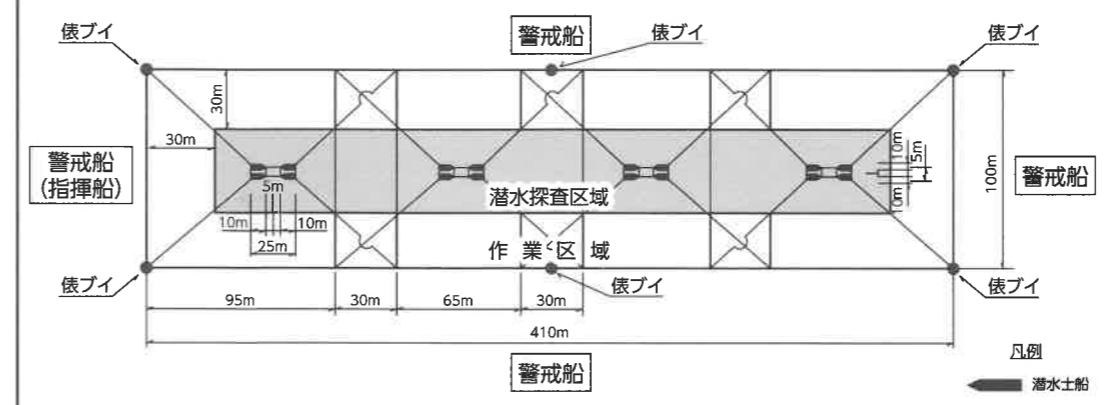


図-3 潜水土船の標識

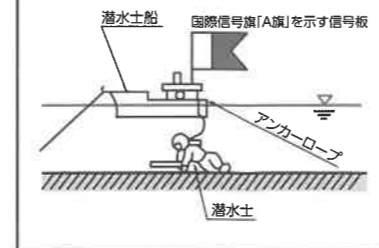


図-4 警戒船の標識

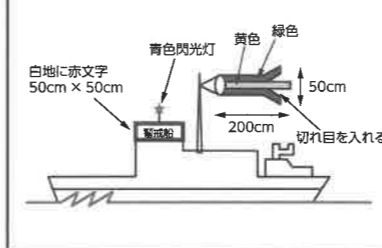


図-5 俵ブイ詳細図

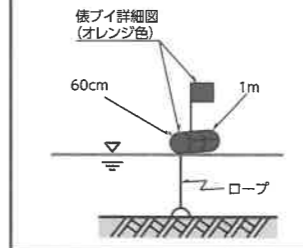


図-6 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図

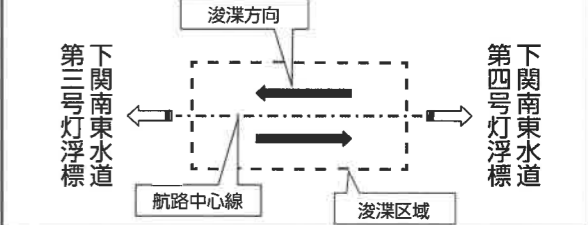


図-7 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図

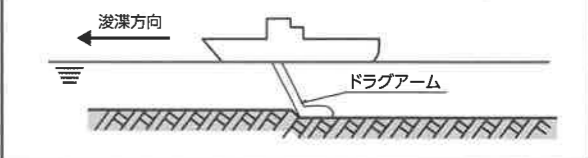


図-8 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物

